

冬期の河川巡視について

冬期間は、週に1～2回河川巡視を行っています。

鮭川出張所管内では、基本的に冬期は積雪で堤防上が通行できなくなるため、橋の上や通行可能な堤防から河川巡視を行っています。

この時期は、灯油を使用する機会が増えることから、河川への油流出事故が多発するため、支流や水路などを異常の有無に重点をおきパトロールを行っています。

またこの他にも、雪捨て場の使用状況や河川管理施設（樋管等）の積雪状況、鮭川出張所管内の工事状況なども確認しています。

地域のみなさんの安心と安全のために日々の点検や、維持管理に努めています。



雪捨て場の状況確認



橋の上から河川状況の確認



工事状況の確認

定期的な河川巡視を行っていますが、多くの「目」で早期に異常・変状を発見することで、災害の防止に繋がります。河川や堤防で異常などを発見した場合は、鮭川出張所までご連絡下さい。鮭川出張所：0233-55-3020



Twitter



しています！

手軽に情報を
ご覧いただけます

国土交通省 新庄河川事務所
@shinjyou_ml1

国土交通省 新庄河川事務所の公式アカウントです。山形県内内陸部の最上川中流部及び直轄砂防流域を管理しています。防災情報、イベントや工事の情報等を随時情報発信しています。ぜひ、ご覧下さい。

＼フォローお待ちしております／

令和3年度「所内業務報告会」

2月18日（金）に、新庄河川事務所において令和3年度「所内業務報告会」が行われました。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、WEB会議方式での開催が行われました。）

所内業務報告会とは、事務・技術向上を目的とし、所内の業務に関する創意工夫・研究・調査・今年度工事などについて発表を行うもので毎年行われています。

鮭川出張所からは、後藤管理第一係長が「最上川水系鮭川における伝統的な鮭・鮎等の捕獲施設占用について」と題し発表しました。



後藤管理第一係長より

所内業務報告会では、「最上川水系鮭川における伝統的な鮭・鮎等の捕獲施設占用について」と題しまして、昔から鮭川流域で行われている鮭・鮎漁に関する占用手続きに関するポイントと鮭にまつわる話題について紹介しました。自然の恵みや営みが遙か未来まで続くことを望みます。

冬期間に油流出事故が多発しています

最上川の水質事故の発生件数は国が管理する東北12水系の中で最も多く、近年ワースト1位が続いています。

原因の多くは、冬期間における灯油の流出によるもので、暖房器具などを使用するこの時期に多発しています。

水質事故は、突発的に発生し、下流へ拡散すると魚類のへい死や水道水等の取水停止など、環境や飲み水にまで影響する大きな被害につながる恐れがあります。

給油中は、その場から離れないよう一人一人の心がけが大切です。

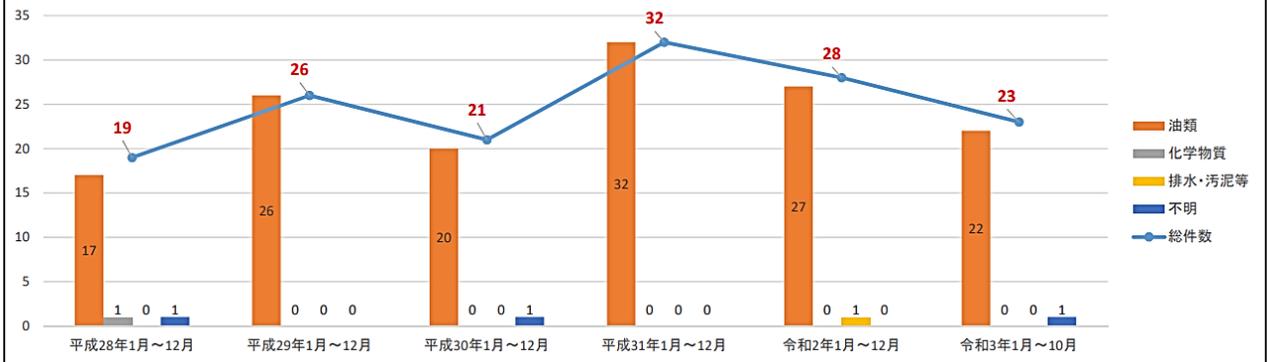


積雪や落雪の影響でタンクのレバーが動いたり、落雪によってタンクが転倒し油漏れの原因になることがあります。特に積雪の多い今の時期は、発生元の確認作業に困難が生じるためホームタンク周辺の点検や補修、除雪などお願いします。不安な場合は、業者（灯油販売店・配管設備店）に点検を依頼して下さい。

油流出事故を防ぐための心がけ

- ① その場から離れない
- ② 配管の場所には目印を
- ③ 落雪によるタンクの転倒に注意
- ④ 定期点検を怠らない

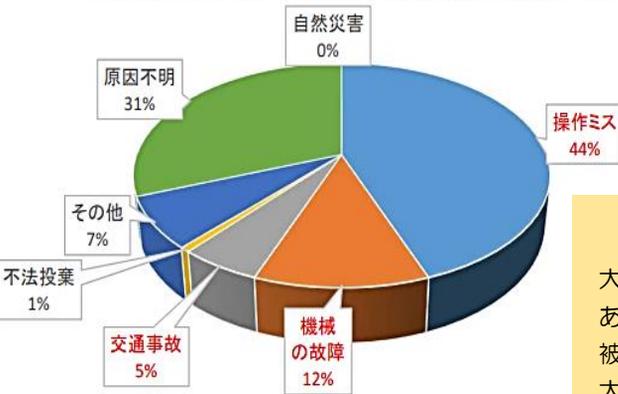
新庄管内 過去5カ年事故件数(村山市・東根市含む)



新庄管内 過去5カ年事故原因(村山市・東根市含む)

▲新庄河川事務所管内平成28年～令和3年10月までの過去5カ年の水質事故件数をグラフにしたものです。事故件数は、平成28年・平成30年と比べここ3年は増加傾向にあります。

◀事故の原因の多くは操作ミス・機械の故障・交通事故など人為的ミスが6割以上も占めています。原因不明のケースも多いです。



今の時期は、暖房用の燃料給油、積雪や路面凍結による自動車事故、大雪による配管の破損などが水質事故を起こす条件が増える原因でもあります。もしも、油流出事故が発生した場合、早期発見・早期対応が被害拡大を防止します。また、流出した油を水で洗い流すことは被害拡大に繋がりますので絶対にやめましょう。

お問い合わせ

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shiniyou/>
広報紙担当: 後藤・三原
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。

